

防衛省からの自衛官講師派遣によるワークショップ等の実施について

令和8年9月7日～9日、2025年8月に署名された日チリ防衛協力・交流に関する覚書(MOU)に基づき、チリ国防省、軍及び防災庁関係者を対象にHA/DR(Humanitarian Assistance/Disaster Relief)、WPS(Woman, Peace and Security)に関するワークショップ及び講義が開催されました。本事業は、防衛省が人的交流の一環として講師を派遣(浦上防衛大准教授(2佐・Ph.D.))し、初めて開催されたものです。

9月7日、防衛省から派遣された浦上防衛大准教授(2佐・Ph.D.)は、防災庁(SENAPRED)を訪問し、「災害リスク管理」について、講義を行いました。

9月8日、曾根大使は、ANEPE(ACADEMIA NACIONAL DE ESTUDIOS POLITICOS Y ESTRATEGICOS)で行われたHA/DR、WPS等に関するワークショップ開講式に出席しました。修了式においては、豊田次席より参加した受講生に対し、修了証が授与されました。

9月9日、防衛大准教授・浦上(2佐・Ph.D.)は、CECOPAC(Centro Conjunto para Operaciones de Paz de Chile)を訪問し、国連軍事停戦監視要員育成コースの学生に対し、「Strategic Communication and Information Integrity」の講義を行いました。



講義の様子 (@SENAPRED)



浦上准教授と成田防駐官



曾根大使挨拶 (@ANEPE)



曾根大使及び ANEPE 学長
とワークショップ参加者



ワークショップの様子 (@ANEPE)



参加者による発表 (@ANEPE)



豊田次席による修了証の授与



浦上准教授、豊田次席、ANEPE 学長及び参加者



CECOPAC の概要説明受け



講義の様子 (@CECOPAC)